



令和4年度 東京都立武蔵台学園 学校経営報告

令和5年3月31日 校長決定

はじめに

この3年余り、新型コロナウイルス感染症により、学校経営において様々な制限や変更等が余儀なくされてきた。一方、新しい生活様式の中で、これまでの伝統の良さを継承しつつ、改革すべき点について見直す機会となった。

「教学相長」の校訓のもと、全教職員の英知を結集して、組織的、計画的な学校経営を推進し、児童・生徒、保護者をはじめ、広く都民に親しまれる学校「セーフティ&スペシャリティ&スマート・スクール」の実現に全力を注いできた。以下に令和4年度の学校経営について報告する。

I 令和4年度の取組目標等に関する自己評価

各取組目標に対する実施状況及び成果と課題については、別紙「令和4年度 学校経営の自己評価（最終実施状況）」のとおりである。

II 令和5年度以降の課題とそれに対する改善策

令和5年度以降の本校の重点取組課題は、1 安全で安心な学校運営の推進、2 個に応じた教育の推進、3 ライフ・ワーク・バランスの推進の3つである。

それらの改善に向けて、具体的には、1 児童・生徒の事故を0にする。そのためには、関係者間の連携を密に取りながら子供の実態把握と行動の予測、施設・設備の安全管理に徹底して当たっていく。

2 デジタル技術の活用を推進する。そのためには、デジタル活用を苦手とする教員に焦点化した研修を、情報部を中心に展開していく。

3 時間外在勤時間月45時間超の職員を0にする。そのためには、働き方のビジョンを示し、戦略を共有したうえで、行動指針を明らかにすることで達成に向けていく。

その他にも、「言語活動及び読書活動の充実」事業の新規研究指定校として、読書環境の整備や読書活動の充実を図り、個の力を引き出す指導に取り組んでいく。

そして、東京都特別支援教育推進計画（第二期）第二次実施計画に基づき、共生社会の実現に向けた特別支援教育の推進を果たしていく。